

「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」の改訂等に係る検討会について

1. 経緯・趣旨等

- ▶ 平成 23 年に発生した東日本大震災（津波被害、福島原発事故対応）の経験を踏まえて、環境省では、平成 25 年 6 月に「災害時におけるペットの救護対策ガイドライン」を作成。
- ▶ 同ガイドラインでは、災害時に飼い主責任による同行避難を前提としながらも、個人での対応には限界がある場合に備え、自治体等による支援体制や、放浪動物、負傷動物等の救護体制を整備することの重要性を指摘。
- ▶ 平成 28 年 4 月に発生した熊本地震の経験を踏まえて、今後の災害時対応に備えるため、ガイドライン等について所要の改訂を行うことが必要と判断。今年度、ガイドライン改訂のための検討会を開催し、改訂作業を実施する。
- ▶ 改訂にあたっては、昨年度後半から地元関係者の協力を得て取りまとめに着手した「熊本地震における被災動物対応記録集（案）」の作成過程で抽出された課題や、その後の専門家ヒアリング等において指摘された課題等をもとに論点を整理し、具体的な検討を行う。

2. 改訂にあたっての留意点（案）

ガイドラインの改訂にあたっては、下記の事項に留意する。

- ① 防災基本計画などの防災施策体系との整合の取れた施策の展開
- ② 熊本地震への対応を通じて抽出した課題への対応
- ③ 今後発生が想定される大規模災害（南海トラフ、首都直下等）を視野に入れた対応
- ④ 現行のガイドラインにおいて誤解を与える事項の訂正や丁寧な説明等

3. 改訂スケジュール（案）

8月2日（水）	第1回検討会	主な論点について検討
9月27日（水）	第2回検討会	第1回目の検討結果を踏まえた修正案作成
10月～12月	広域支援・受援体制整備に係るモデル図上訓練	（3ブロック程度）
来年1月	第3回検討会	モデル図上訓練の結果も反映した改訂案取りまとめ
来年2月	公開シンポジウム開催	＋普及啓発に着手